

はなみずきのまちだより

■編集・発行 / 社会福祉法人名古屋市千種区社会福祉協議会

■ホームページ / <http://www.chikusa-shakyo.jp/>



賛助会員大募集!

～福祉のまちづくりにご協力を～

千種区社会福祉協議会では、区民の皆様とともに地域福祉を推進するにあたり、地域での福祉事業を支援するため、その経費にご協力いただく賛助会員を広く募集いたします。皆様にご協力いただく賛助会費は、以下のような事業等に使われています。

- 学区ふれあい給食会の応援
- 介護予防の取り組みとしての珈琲ボランティアの養成
- 福祉教育の器具・機材経費
- 学区地域福祉推進協議会への助成
- 地域の担い手養成講座開催経費(託児・小修繕ボランティアの養成活動支援)



網戸の張り替え作業中



珈琲の淹れ方特訓中

賛助会費

個人会員

1口

500円(年間)

法人・団体会員

1口

5,000円(年間)

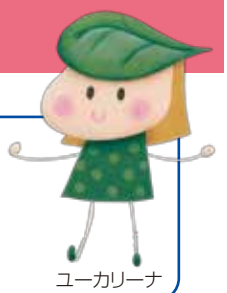
※賛助会費は年会費として毎年、集金させていただきます。(ただし、お申し出があれば会員登録を廃止します)
※会費は金額により税法上の控除対象となる場合があります。

今年度も、皆様のあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。

もくじ

令和元年度 賛助会員大募集!..... P.1
 第4次 地域福祉活動計画 始動!!..... P.2
 共同募金、こうして使われています!..... P.3
 ～花壇に花を咲かせましょう♪～..... P.3
 ちくさだれでも広場を開催!..... P.4

ちくさお助け情報を発行しました..... P.4
 赤い羽根共同募金のご報告..... P.4
 ボランティア保険のご案内 令和元年度..... P.4
 『認知症サポーター』が地域で活躍しています!..... P.5
 千種区ボラ連を知ろう!／善意の小箱..... P.6



ユーカリナ

誰もが安心して生活できる千種区を目指して

第4次 地域福祉活動計画 始動!!

千種区社会福祉協議会では、住民のみなさまと一緒に、人と人、人と地域が「つながる・ひろがる・かよいあう」というスローガンをかけて、「地域福祉活動計画」をすすめてきました。地域福祉活動計画とは、「誰もが安心して生活できる千種区」を目指して、地域の方々が抱える困りごとや悩みの解決・軽減をはかるため、住民のみなさまと関係機関・団体などが協力して取り組む具体的な行動計画です。

この約1年間、たくさんのお話し合いを重ねて、令和元年度から始まる5年間を実施期間とした「第4次地域福祉活動計画」を策定しました。いよいよ、その計画の推進に取り組んでまいります!



計画冊子(概要版)の表紙

第4次活動計画の内容詳細は、冊子の配布、ホームページへ掲載する予定です。

たくさんの住民のみなさまに知っていただき、活動の輪を広げていきます。

「きっかけ」づくり
「ひと」づくり
「つながり」づくり

3つのグループですおすすめ。
わたしも、みなさんと一緒に
取り組みます!!

活動計画マスコットキャラクター
ユーカリーナ

計画策定に参加してくださった住民の方と学生さんのアイデアから生まれたキャラクターです。頭の上に載せているのは、千種区で有名なあのキャラクターが大好きな葉っぱ!?



第4次活動計画のスタート会議

「第1回推進委員会」を開催しました

令和元年5月24日(金)に第4次活動計画の推進委員会の全体会(第1回)を行いました。推進委員のメンバーは、計画策定からの委員のみなさんに加えて、新たに21名の委員さんを迎え、総勢46名でスタートします。

これから「きっかけ」「ひと」「つながり」のグループごとに、1～2ヶ月に1回程度の頻度で、話し合いや、イベント・企画実施などに取り組めます。広報誌「はなみずきのまちだより」でも、活動について掲載していきたいと思えます。





共同募金、こうして使われています！

今年2月23日、「高見まちづくりを考える会」が主催し、高見学区連絡協議会及び市上下水道局千種営業所などの協賛による、“防災とご近所づきあい”をテーマに講談・トークショー・ミニゲームをセットにしたイベントが、高見コミュニティセンターで行われました。

この催しは、防災をとおした学区住民の助け合い、支え合いを深めることを目的としたもので、子どもから高齢の方々まで、およそ80名が参加されました。

きょくどうりんりん

始めに、大須演芸場などで活躍する講談師の旭堂鱗林さんの防災を交えた講談と話して、会場は大きな笑いの渦に。

また、以前から旭堂鱗林さんと親交がある東海ラジオアナウンサーの源石和輝さんも登場し、災害への備えや地域住民の共助などについて、おふたりの息ピッタリの楽しい掛け合いトークが繰り広げられました。

最後は、災害時の情報を住民間でいかに正確に伝えられるのかの伝言ゲームを参加者全員で楽しみ、会場は大きな歓声に包まれました。

この事業は、“赤い羽根共同募金”の助成金で実施されたものです。今年も10月から共同募金運動が展開されます。みなさま、ぜひともご協力、よろしくお願いいたします！



～花壇に花を咲かせましょう♪～



千種区社会福祉協議会では、地域の皆さんに気軽に立ち寄っていただけるような施設づくりを目指して、今年の春から正面玄関の花壇に花をいっぱい咲かせよう♪と取り組んでいます。

まず、無造作に伸びた常緑樹を抜去することから始まりました。この作業にご協力下さったのは花水木鯨城会(*1)の方々です。長年手入れができないままになっていた常緑樹は蔦や根がとても頑丈で、刈り取ることに2時間…。

真っ新になった土には、地域住民の方がご自宅で育てられた、桜草や蔓日々草、スズランやローズマリーなど、ご寄附いただいた花達をはじめ、パンジーやマリーゴールドの苗が植えられ、賑やかな花壇となりました。

また、この夏、花壇には災害ボランティアちくさネットワークの方のご協力により、ひまわりが花を咲かせようとしています。このひまわりは被災地を元気づけるために咲き繋げている種で育った花で、阪神淡路大震災の際、ある学生のボランティアが被災者の皆様へ「心の支えになれば…」と想いを込めてひまわりの種を配ったことから始まり、その後、新潟県中越地震、能登半島地震へと咲いた種が繋げられたものです。娘さんが住む千種区へ避難された被災者の方から「防災意識と命の尊さ」を千種区の皆さんへ伝えたい…との想いでいただいたものです。

現在、高齢者はつらつ長寿推進事業(*2)の参加者や花水木鯨城会の有志の皆さん、地域住民の方々に、水やり、肥料やり、植え替えなどのご協力、アドバイスや愛情をいただきながら育てています。ご協力いただいている皆様、ありがとうございます。

この企画は今年2月に名古屋市社会福祉協議会が実施した「職員提案制度」において、各種地域関係団体をはじめ地域住民の皆様方と共に取り組んだことが評価され、優秀賞に選ばれました。

(*1)名古屋市高年大学の卒業生で結成されている会 (*2)名古屋市から受託している介護予防事業



P6. 4コマまんがも見てね♪

ちくさだれでも広場を開催！

～赤ちゃんからおじいちゃんおばあちゃんまで、一緒に遊ぼう、食べよう、ふれあおう～
大好評をいただいている「ちくさだれでも広場」を今年も実施します。

- 日時** 7月31日(水) 10:30～13:30
- 会場** 千種区在宅サービスセンター
- 内容** 軽食ブース(パン・おにぎり・コーヒー等ドリンクも用意)
遊びブース(音楽・工作・キッズネイル・手品・紙芝居・キッズコーナー・折り紙・工作等)
- 対象** 区内在住のどなたでもご参加いただけます。
- 参加費** 子どもは無料(18歳まで)大人は100円
- 申込** 不要。当日直接お越しください。
※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。



昨年度の様子

主催/千種区ボランティア連絡協議会 協力/千種区社会福祉協議会



ちくさお助け情報を発行しました

「前は自分でできたのに、最近、少し「えらく」なってきた」

そのようなお声にこたえるべく、『ちよつとした くらしを ささえる お助け情報』を発行しました。

本紙は、千種区内の非営利団体で生活上のお困りごとのお手伝いをされている団体さんをまとめたものです。

一部団体を除いて、すべての人に使っていただけるもので、ご高齢の方だけでなく、妊婦さんや怪我の治療中のかたなどにも使っていただけます。



社会福祉協議会の窓口他、区役所あじさい広場、東部・西部いきいき支援センターなどに配架しております。是非お手に取ってみてください♪

じぶんの(千種区)町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金のご報告

昨年度も赤い羽根共同募金運動にご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。心からお礼申し上げます。

平成30年度の千種区共同募金最終実績額は下記のとおりとなりましたのでご報告いたします。

みなさまから頂いた募金は、令和元年度に千種区の町を良くする地域福祉活動に役立てられます。これからもみなさまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成30年度最終実績額

一般募金
9,731,100円
歳末たすけあい募金
1,001,038円



ボランティア保険のご案内 令和元年度

内 容	①ボランティア活動保険 ボランティア活動における傷害、賠償事故を補償する保険です。地震や津波に対応する保険(天災プラン)にも加入いただけます。 ②ボランティア行事用保険 ボランティア団体が主催する行事にかける保険です。
保険期間	手続き日の翌日から年度末まで
手続方法	千種区社会福祉協議会ボランティアセンターまでお越しください。(土日、祝日はお休みです。)
注 意 点	手続きにはご印鑑が必要ですのでお持ちください。自動更新ではないため、毎年度申込が必要です。

※詳細は千種区社会福祉協議会ボランティアセンターまでご連絡をお願いします。

『認知症サポーター』が地域で活躍しています!

高齢化が進むにつれて、認知症高齢者の数も増加しています。いきいき支援センターでは、認知症になったとしても住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるように、地域で認知症の理解者を増やす活動を支援しています。その活動の一つとして認知症サポーター養成講座を行っています。認知症サポーター養成講座は、認知症の基礎知識やサポーターとして何ができるかなどを学ぶ講座で、地域や職域・学校などで実施しています。いきいき支援センターでは毎月認知症サポーター養成講座を行っております。またご依頼があればグループや企業へ出張講座も行っております。

今回は認知症サポーター養成講座を受講された方のその後の活動について2つご紹介させていただきます。

ちくさ区認知症予防体操インストラクター



一つ目は千種区独自でおこなっているちくさ区認知症予防体操インストラクターです。認知症予防には運動療法が有効と言われています。その中でも特に、頭と体の運動を同時に行うエクササイズ(コグニサイズ)が認知機能を向上させることが、様々な研究の結果から分かってきました。これらを取り入れた、認知症予防体操を地域に普及していくための取り組みがちくさ区認知症予防体操インストラクターです。認知症サポーター養成講座を受講したうえで、更にちくさ区認知症予防体操インストラクター養成講座を受講した方がインストラクターとして活動を行っています。地域のサロンや高齢者はつつ長寿推進事業、学区の勉強会や市民講座などを訪問し、認知症予防体操を実践・普及できるよう活動しています。

認知症カフェボランティア



二つ目は認知症カフェのボランティア参加です。認知症カフェとは認知症の方・認知症の方を介護されているご家族・地域住民どなたでも参加できるカフェで、気軽に認知症のお話や情報共有を行ったり、専門職に相談できる場となっています。千種区のアピタ千代田橋店でも認知症カフェを行っており、認知症サポーターが、ボランティアとしてカフェの運営に参加しています。アピタの認知症カフェではお茶の準備をしたり、場所のセッティング、カフェに参加している方とお話をしています。いつも皆さん笑顔でいきいきと活動しています。

認知症サポーター養成講座 時間 14:00~15:30 東部 9/24(火) 西部 8/14(水)

認知症サポーター養成講座やちくさ区認知症予防体操インストラクター、認知症カフェのボランティアに関してのお問い合わせがございましたら、千種区東部・西部いきいき支援センターまでご連絡下さい。 ※前日までにお申し込みください。

高齢者の健康・福祉・介護のご相談は・・・

東部いきいき支援センター

担当学区
大和、上野、東山、星ヶ丘、自由ヶ丘、富士見台、宮根、千代田橋

電話 781-8343

FAX 781-8346

桜が丘11-1 ソフィアビル1階

東部いきいき支援センター分室

宮根台1-4-24 山内ビル1階

電話 726-8944 FAX 726-8966



西部いきいき支援センター

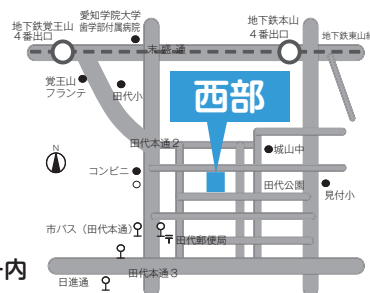
担当学区
千種、千石、内山、高見、春岡、田代、見付

電話 763-1530

FAX 763-1547

西崎町2-4-1

千種区在宅サービスセンター内



花壇に花を咲かせましょう♪



千種区ボラ連を知ろう!

ボランティアさんにインタビュー!



コープあいち・ウイズコープ録音グループ
早川 裕之さん

Q 活動をはじめられたきっかけはなんですか?

A ある日、妻から「あなたは世間が狭いから、もっと広く世間に目を向けてみては?」と言われたことがありました。
ずっとサラリーマン生活をしてきて、ちょうど営業担当から業務支援と人材教育担当になり、また50歳を過ぎて何をしていたかと思っていたところでもありました。
「素敵な声をしている」と周囲から褒められる機会が多く、声を活かして何かできないかと朗読をはじめたことがきっかけです。

Q 活動されてみて、やりがいだったり感想を教えてください。

A 視覚障がいのある利用者のみなさんの集まりに参加した時に、「あなたの声だったのね」と言ってくださることがうれしかったです。音訳以外にも視覚障がいの方の買い物同行など、今まで自分が知らなかった生活を知ることができました。
またバリアフリーという仕組みが、障がい者だけでなく健常者にも暮らしやすい仕組みだということもわかりました。自分が高齢者になった時に、どんなサポートが必要かも考えながらこれからも活動していきたいです。

Q 今後の意気込みをお願いします。

A 定年を迎え、活動できる時間も増えるので観光ボランティア、東京オリンピックボランティアへと活動の輪を広げていきたいと思えます。

※ウイズコープとは、コープあいちの機関紙「ウイズコープ」のことで、音訳してCDに編集し、視覚障がいのある利用者に送付しています。



※花水木鯉城会とは名古屋市高年大学の卒業生で結成されている会です。

(作) あいち造形デザイン専門学校 まんが科 和歌 芹奈さん

善意の小箱

「千種区の福祉に役立ててください」と善意の寄付をいただきました。

<平成31年1月26日～令和元年6月24日>

- ユニー株式会社 ピアゴラ フーズコア今池店
- ユニー株式会社 ピアゴラ フーズドラッグ萱場店
- ユニー株式会社 アピタ千代田橋店
- 名古屋ヤクルト販売 株式会社
- 匿名 1件

皆さまからいただいた寄付金等は千種区の地域福祉の推進に活用させていただきます。ありがとうございました。

社会福祉法人 名古屋市千種区社会福祉協議会 (千種区在宅サービスセンター内)

〒464-0825 / 名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1

● お問い合わせ先

TEL 【代表】 052-763-1531
 【ボランティアセンター】 052-763-1536
 【千種区西部いきいき支援センター】 052-763-1530
 【千種区介護保険事業所】 052-763-7842
 【デイサービス】 052-763-1331

FAX 052-763-1547

ホームページ



http://www.chikusa-shakyo.jp